

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1	室内騒音レベル	-	-	3.0	-			
2	設備騒音対策	-	-	-	-			
1.2 遮音								
1	開口部遮音性能	-	-	3.0	-			
2	界壁遮音性能	-	-	3.0	-			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	3.0	-			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音								
		-	-	3.0	-			
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1	室温	-	-	3.0	-			
2	負荷変動・追従制御性	-	-	-	-			
3	外皮性能	-	-	3.0	-			
4	ゾーン別制御性	-	-	-	-			
5	温度・湿度制御	-	-	-	-			
6	個別制御	-	-	-	-			
7	時間外空調に対する配慮	-	-	-	-			
8	監視システム	-	-	-	-			
2.2 湿度制御								
		-	-	3.0	-			
2.3 空調方式								
		-	-	3.0	-			
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1	昼光率	-	-	3.0	-			
2	方位別開口	-	-	3.0	-			
3	昼光利用設備	-	-	3.0	-			
3.2 グレア対策								
1	照明器具のグレア	-	-	-	-			
2	昼光制御	-	-	3.0	-			
3	映り込み対策	-	-	-	-			
3.3 照度								
		-	-	3.0	-			
3.4 照明制御								
		-	-	3.0	-			
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1	化学汚染物質	-	-	3.0	-			
2	アスベスト対策	-	-	-	-			
3	ダニ・カビ等	-	-	-	-			
4	レジオネラ対策	-	-	-	-			
4.2 換気								
1	換気量	-	-	3.0	-			
2	自然換気性能	-	-	3.0	-			
3	取り入れ外気への配慮	-	-	3.0	-			
4	給気計画	-	-	-	-			
4.3 運用管理								
1	CO ₂ の監視	-	-	-	-			
2	喫煙の制御	-	-	-	-			
Q2 サービス性能								3.4
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1	広さ・収納性	-	-	3.0	-			
2	高度情報通信設備対応	-	-	3.0	-			
3	バリアフリー計画	-	-	-	-			
1.2 心理性・快適性								
1	広さ感・景観	-	-	3.0	-			
2	リフレッシュスペース	-	-	-	-			
3	内装計画	-	-	-	-			
1.3 維持管理								
1	維持管理に配慮した設計	-	-	-	-			
2	維持管理用機能の確保	-	-	-	-			
3	衛生管理業務	-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1	耐震性	3.0	0.52	-	-			3.0
2	免震・制振性能	3.0	0.48	-	-			
2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.80	-	-			
1	躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	-	-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.33	-	-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.23	-	-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.23	-	-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.09	-	-			
6	主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.08	-	-			
		3.0	0.15	-	-			
		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具、井水を利用	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.9	0.48	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高 = 4.4m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 = 0.095	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		積載荷重(床用)5000N/㎡以上	4.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR換算値=37%	5.0	0.43	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=37%	5.0		-	-	
集合住宅の評価			3.6		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.29	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.63	-	-	3.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	土壌改良材:ピット下、ビニル床材:1階廊下・1・便所他、ルーフing:屋上	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材、生産設備更新をふまえて、配線配管は極力躯体に非打込み	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤・断熱材等未使用	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 = 90%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1)チェックリスト、2)配慮事項のいずれも過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	